

# 新型コロナウイルス感染症対策（市独自策等）の概要

## 1 12月補正予算の概要

「コロナ社会」withコロナでの雇用確保、地域医療体制の基盤確保、感染症拡大防止、「ポストコロナ」を見据えた行政業務の効率化策等として、

- I 離職者、内定取り消し等の「緊急雇用確保」と市内事業者への経済支援、
- II 地域医療体制の基盤確保に向けた自治体病院の支援、
- III 「ポストコロナ」を見据えた行政手続きのオンライン化・業務効率化に向けた環境整備、
- IV 感染症の拡大防止への対応のための補正予算を編成。

## 2 補正予算の規模

12月補正予算 9,023万8千円（コロナ対策分のみ）

## 3 主な事業

### I 緊急雇用確保と市内事業者への経済支援 6,918万3千円

- ① 感染症拡大に伴い離職、内定取り消し等を受けた者の市職員採用 788万8千円
- ② 県実施「新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金」の市負担金 6,129万5千円

県の緊急事態措置（R2.4.16）による施設の使用停止、営業時間の短縮に対する協力金（50万円）支援措置の市負担分（1/3）を県に支払うもの

### II 自治体病院への支援 1,204万4千円

地域医療体制の万全の備えのため、市民病院へ国の緊急包括支援事業等の対象外となる経費（手指消毒液、検査用機器及び試薬の購入費用等）を補助

### III 行政手続きのオンライン化・業務効率化に向けた環境整備 524万5千円

- ① 行政手続のオンライン化等に向けた法令及び例規の見直し 412万5千円
- ② 職員の働き方改善のため、「時間外勤務・休暇管理システム」を導入 33万円
- ③ 待機時間の圧縮、窓口業務効率化（マイナンバーカード用プリンターの導入） 79万円

### IV 感染症の拡大防止への対応 376万6千円

- ① 人が集まる確定申告時期の三密対策（会場拡張）を実施 15万7千円
- ② 使用ニーズに応じた市役所来庁者用の手指消毒液の追加購入 20万5千円
- ③ 情報伝達手段の継続的な確保のため、安心・安全を考慮した自治会  
回覧板の抗菌化 340万4千円